

コード	304010803
記入日	H23.7.26

課コード	112
課名	こども課
課長名	荒木 宣貴
担当者	村中 佳夫

# 事務事業事前評価表

作成年度	平成 23 年度
------	----------

評価対象事業名称	有川保育所耐震改修事業
----------	-------------

事業種類	単年度事業
事業期間	平成 23 年度 ~ 平成 23 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け		
政策コード	3	政策名称	誰もが安心できる保健・医療・福祉の充実		款コード	3
施策コード	304	施策名称	ふれあい、支えあい、助けあい、みんなで育てよう未来の宝		項コード	2
基本事業コード	30401	基本事業名称	地域における子育ての支援		目コード	3
事務事業コード	3040108	事務事業名称	保育所管理費		細目コード	1314
関連計画	法令・条例規則等					

## 計画 ( PLAN )

対象：誰、何を対象にしているのか	対象指標：対象の大きさを表す指標			
(対象1) 入所児童	(対象指標1) 26人			
(対象2)	(対象指標2)			
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入	活動指標：事務事業の活動量を表す指標			
・安心安全な保育のために、耐震診断に基づき耐震補強設計を行い、耐震補強工事を実施する。また、老朽化による軒裏が危険な状態であるほか各部屋の床にカビが発生しているため改修も行う。 →耐震設計委託 1.0式 →耐震改修工事 1.0式 (撤去、建具、内装、軒裏補修工事、耐震補強工事)	(活動指標名称)	(活動指標数値)	(指標積算根拠)	(目標達成年度)
	① 工事進捗率	100%	工事実績+工事計画	平成23年度
	②			
③				
目的：何をしたいのか	成果指標：目的の達成度を表す指標			
・安心安全な保育を行うため、耐震診断に基づき補強工事を行う。これにより、入所児童の安全性の確保と施設の延命化が図られる。	(成果指標名称)	(成果指標数値)	(指標積算根拠)	(目標達成年度)
	① 安全利用日数	100%	安全利用日数+365日	平成23年度
	②			
③				

## 実施 ( DO )

	単位	全体計画	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度以降
		H 23 ~ H 23							
活動指標	%	100	100						
成果指標	%	100	100						
総事業費 C (A+B)	千円	10,438	10,438						
直接事業費 A	千円	9,738	9,738						
人件費 B	千円	700	700						
内訳	従事職員数	人	0.1						
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円							
	県補助金	千円							
	起債	千円	9,300	9,300					
	その他	千円							
一般財源	千円	1,138	1,138						

**評価 (CHECK)**

評価項目		内 容
1 次 評 価	事業の緊急性・必要性	耐震診断に基づき設計、工事を行うことで施設の安全性の確保が図られる。また、床にカビ等が発生しているため、早急な改修が必要である。
	類似事業との関連	H23年度に行う改修事業は、有川保育所だけで類似の事業はありません。
	費用対効果	保育料を徴収し、運営している施設であり、入所児童の安全性の確保は最優先事項で十分に費用対効果はある。

<b>2次評価</b>	平成20年度にも大規模改修工事を実施したが、材質や床下の換気等の問題でカビが発生し保育・衛生環境上問題であるが、本当にカビ対策が十分であるか検討し工法等を見直し、併せて耐震補強工事も行うこと。事業を実施するにあたっては、代替の保育場所については、園児や保護者に負担のかからないように配慮し、関係機関と協議を行い円滑な施設利用を図ること。
-------------	--

住民等の意見	
町の対応	

事業採択結果	1次	2次	3次		1次	2次	3次	
	●			計画どおりに事業を実施する				次年度以降に計画どおり実施する
		●		事業内容を見直して事業を実施する				次年度以降に計画を見直して実施する
				事業費を増額して事業を実施する				次年度以降に類似事業と整理統合して実施する
				事業費を減額して事業を実施する				当分の間は実施しない
				類似事業と整理統合して実施する				

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。